

# 直小だより 2月号



電話・Fax 0768(82)0313  
E-mail [tada-01@city.suzu.ishikawa.jp](mailto:tada-01@city.suzu.ishikawa.jp)  
URL <http://cms1.ishikawa-ed.jp/~tadaxe/>

祖父はかなり厳格な人だったと思います。小さい頃、食事中に私が喋ろうものなら、「食事中に喋るもんじゃない」と厳しく注意されました。ことある毎に言われた言葉が「お前、あんか（長男）やさかいな」でした。将来、家を継ぐ者として、ふさわしい準備をしておけという意味だったのでしょう。そのせいか、よく家の手伝いも私に回ってきました（2歳下の弟がいたのですが圧倒的に私が多かったです）。夏にお客さんが来たら、冷たいカルピスをつくって出すのも主に私の役目でした（小学生でしたが）。また、祖父は、肩こりがひどく、肩揉みもよく頼まれました。かなりの時間揉むこともあります、疲れてそのまま眠ってしまったこともある位です。学校のこととか、あまり聞かれたこともなかったのですが、中3の12月のことでした。祖父と祖母が、改まって父と母を自分達の部屋へ呼びました。かなり珍しいことでした。呼ばれた父も母も少しけげんな表情であったと思います。ほどなくして部屋から出てきた母は私に言いました。

「あのな、専次、おじじ（祖父）とおばば（祖母）が、『田んぼ売ってでも、専次の行きたい高校へ行かせてやってやれ』と言ってくれてんよ。」実は、当時、私には行きたい高校がありました。しかし、自宅から遠くて、通学出来ず、下宿しなければなりませんでした。そのため、なかなか口に出しにくかったです。祖父母に、進学のことを話したこととなかったのに、私のことをちゃんと考えてくれていたのだなと嬉しくなりました。また、あれは高校入試に出発する日の前日だったかと思います。夕食を終えて、部屋に戻ろうとした時、「専次、ちょっと待て」と、私だけ祖母に呼び止められました。食卓に再びついた私の前に、祖母は冷蔵庫から、自分でつくった鯛の刺身を出してきてくれました。「お前、明日から大事なテストや。これ食べて頑張るんや。」漁師をしていたとはいえ、鯛は大事な売り物、なかなか口に出来ない代物でした。人生には岐路というものがあります。そして、その岐路に立った時、家族が沢山の後押しをしてくれたことは、何年経っても感謝し続けていきたいと思います。

令和7年1月 珠洲市立直小学校長 道端 専次

## 3学期始業式 (1/8)



令和7年1月8日(水)、3学期が始まりました。全校で元気に校歌を歌った後、校長先生の話がありました。今年は、「巳年」であること、「へび」は脱皮をする動物であることから、巳年は、「成長や変革、再生」を象徴する年であることを聞きました。最後に、校長先生から「自分の目標をもって、最後まであきらめないで取り組んでください。」とメッセージがありました。

直っ子の今年の活躍にも期待したいと思います。



## 校内書き初め大会 (1/8)

8日(水)2・3限に、校内書き初め大会がありました。冬休みの宿題で頑張った成果を発揮する時が来ました。1・2年生は硬筆、3~6年生は、毛筆に挑戦しました。どの教室でも、集中して取り組む姿が見られました。

さあ、できた！



【1年生】



【2年生】



【3年生】



【4年生】



【5年生】



【6年生】

同日に審査も行いました。入選した児童は、以下のとおりです。

【1年生】桶田彩未 山根千歳

【2年生】瀬戸谷徹人 田畠魁 藤瀬梓

【3年生】池谷内心優 西瑠惟 谷内田湊人

【4年生】小澤知央 谷内田悠人

【たんぽぽ】大野慶長

【5年生】澤村樹 濱野真佑花

【6年生】瀬法司零千 竹平栄太

## こころのサポート授業 (1/9)

昨年に引き続き、第2回目の「こころのサポート授業」が行われました。齋藤友美子SC(スクールカウンセラー)を迎えて、9日(木)に1・2年生、23日(木)に3~6年生が自分の心の様子について考えました。今の気分は、「楽しいのかな」、「悲しいのかな」、それとも「いろいろしているのかな」と、キモチ精霊の資料を見ながら自問し、どんな気持ちをもっていてもいい、今の自分でいいということを確かめ合いました。



体がほぐれると心もほぐれる



友達はどんな気持ちかな



自分と友達、違って当たり前



## 避難訓練（1/10）地震・津波への対応

10日（金）に地震と津波に対する避難訓練を行いました。児童の心のケアを大切にしながら、地震が起きた際には、自分の命を守るために、適切な安全行動をとることをめあてとして実施しました。訓練では津波から避難するため、「お・は・し・も」を守って3階に移動しました。かけがえのない命を守るため、どの子も真剣な表情でした。



## 校内百人一首大会（1/14）

14日（火）に、校内百人一首大会が行われました。低中高学年に分かれて、対戦しました。冬休みの宿題に、「百人一首がんばろうカード」の取組がありました。一生懸命覚えてきた成果が見られ、上の句を少し聞いていただけで、札を取る子もたくさんいて、白熱しました。



大会進行の図書委員の皆さんです！



1年生の活動の様子



2年生の活動の様子



3～6年生は、畳を敷いたなかよしルームで行いました。ルールを守りながら集中して取り組みました。



3～6年生は、畳を敷いたなかよしルームで行いました。ルールを守りながら集中して取り組みました。

【校内百人一首大会結果】					
(1年生)	(2年生)	(3年生)	(4年生)	(5年生)	(6年生)
1位：山根千歳	1位：谷内華凜	1位：谷内田湊人	1位：新村優奈	1位：菅谷内宏名	1位：山根奏仁
2位：西真梨	2位：出島和佳	2位：西瑠惟	2位：出島明佳	2位：山根侑眞	2位：竹平栄太
3位：桶田彩未	3位：藤瀬梓	3位：山根実月	3位：谷内田悠人	4位：中村瑞生	4位：瀬法司零千
蟹由一葵				2位：濱野真佑花	

## なわとび集会に向けて

本校では、12月より、体力アップを目指してなわとびに取り組んでいます。31日（金）には、「なわとび集会」も行います。8日（水）には、高学年がお手本を披露しました。跳び方のイメージをもったことで、各自時間を見付けて意欲的に練習する姿が見られました。また、昼休みを利用して、縦割り班ごとに8の字跳びの練習をしました。集中して跳び、前回よりも数が増えてみんなで喜び合う姿は、見ている方も感動しました。



高学年なわとび披露



個別の練習



班練習(昼休み)

## 各種応募作品入賞者

☆表彰・おめでとう！（これまで紹介出来なかった分も合わせて掲載いたします。）

### 【第36回石川県読書感想画コンクール】

<指定図書の部> 高学年の部 優秀賞（県代表）：6年山根奏仁

<自由図書の部> 低学年の部 優秀賞（県代表）：2年吉田雪乃

高学年の部 優秀賞（県代表）：5年山根侑眞

### 【校内年賀状コンクール】

入選 1年：竹平圭吾・西真梨・山根千歳

2年：竹平和生・田畠魁・出島和佳

3年：上野煌心・菅谷内義子・瀬法司真弥・吉田澄陽

4年：小澤知央・竹平悠人・出島明佳

5年：菅谷内宏名・須磨聖志郎・松田蒼汰

6年：竹平栄太・濱野竜佑

已年賞 5年：山根侑眞・6年：焼塩心平

### 【校内新年作文審査】

入選 1年：池谷内梨心・徳田こはる

2年：蟹由一葵・瀬戸谷徹人

3年：西瑠惟・谷内田湊人・山根実月

4年：新村優奈・竹平悠人

5年：井田朋花・菅谷内宏名

6年：濱野竜佑

### 【珠洲市民百人一首かるた大会】

<低学年の部>

優勝 3年：谷内田湊人

敢闘賞 2年：出島和佳

<高学年の部>

優勝 4年：谷内田悠人

3位 4年：出島明佳

### 【第15回のと空港書道展】

特選 2年：瀬戸谷徹人

準特選 4年：谷内田悠人

入選 2年：藤瀬梓

3年：谷内田湊人

## 2月の行事予定

日	曜	学校行事等
1	土	
2	日	
3	月	安全点検日
4	火	全校朝会 新入生入学説明会・お招き会(13:45～14:30)
5	水	
6	木	SC来校
7	金	SC来校 司書来校 学校運営協議会・学校評議員・学校関係者評議員会(18:00～)
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	建国記念の日
12	水	委員会
13	木	かたつむり
14	金	文集「のぞみ」親子行事原稿提出締切日
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	児童集会
19	水	クラブ さわやか週間(～27日)
20	木	SC来校 ひおき文芸賞「秋冬」提出〆切
21	金	令和7年度放課後子ども教室・児童クラブ申込書提出〆切
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	児童集会(全校の歌練習) SC来校 いじめアンケート 職員会議 集金振替日
26	水	SC来校
27	木	かたつむり 児童理解の会
28	金	6年生を送る会(13:30～) SC来校 PTA 新旧三役引き継ぎ会(18:30～)

※予定は都合により変更することがあります。

### 「わたしのがんばりたいこと」

(1年 池谷内梨心)

おせちとおぞうにをたべました。おぞうにはいっていたイワノリが、わたしのおきにいりです。そのとき、おじいちゃんとおばあちゃんに、おとし玉をもらいました。



今年がんばりたいことは、サッカーです。シュートをつよくうてないので、つよくうてるようになりたいです。

もう1つがんばりたいことは、一人でなんでもできるようになることです。

### 「わたしのがんばりたいこと」

(1年 徳田こはる)

がんばりたいことは、あいさつを大きいこえでいうことです。いつもあさ学校にいったとき「おはようございます。」のあいさつのこえがちゅうくらいになるからです。大きいこえであいさつをすると、わたしもあいさつをされた人もうれしい気もちになるとおもいます。

二ねん生になつたら、あたらしい一ねん生にやさしくしたいです。そうじのとき、わからないことをおしえてもらつたり、やすみじかんにいっしょにあそんでもらつたりして、とってもうれしかったからです。

### 「ぼくのがんばりたいこと」

(2年 瀬戸谷徹人)

今年、ぼくががんばりたいことは、ドッジボールと習字です。ドッジボールは、ディフェンスをがんばりたいです。なぜかというと、ディフェンスをもつとはやくしないと、ボールをキャッチできないからです。きよねんの大会でとてもくやしい思いをしたので、チームのみんなでリベンジしたいです。習字は、じしんで習いに行けてなかつたけど、また習いに行けるようになってとてもうれしいです。心をおちつかせて、上手に書けた時はうれしいです。

### 「ぼくのがんばりたいこと」

(2年 蟹由一葵)

つぎのマラソン大会で4年生にかつことです。はしりきれようになるために、たくさんはしって体力をつけたいです。もくひょうは、6分45秒が目標です。そして、なわとびれんしゅうをすることです。もくひょうは、二じゅうとび5回です。体をたくさんうごかしてけんこうな1年にしていきたいと思います。

3～6年入選者の作文は、次以降に掲載します。